

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

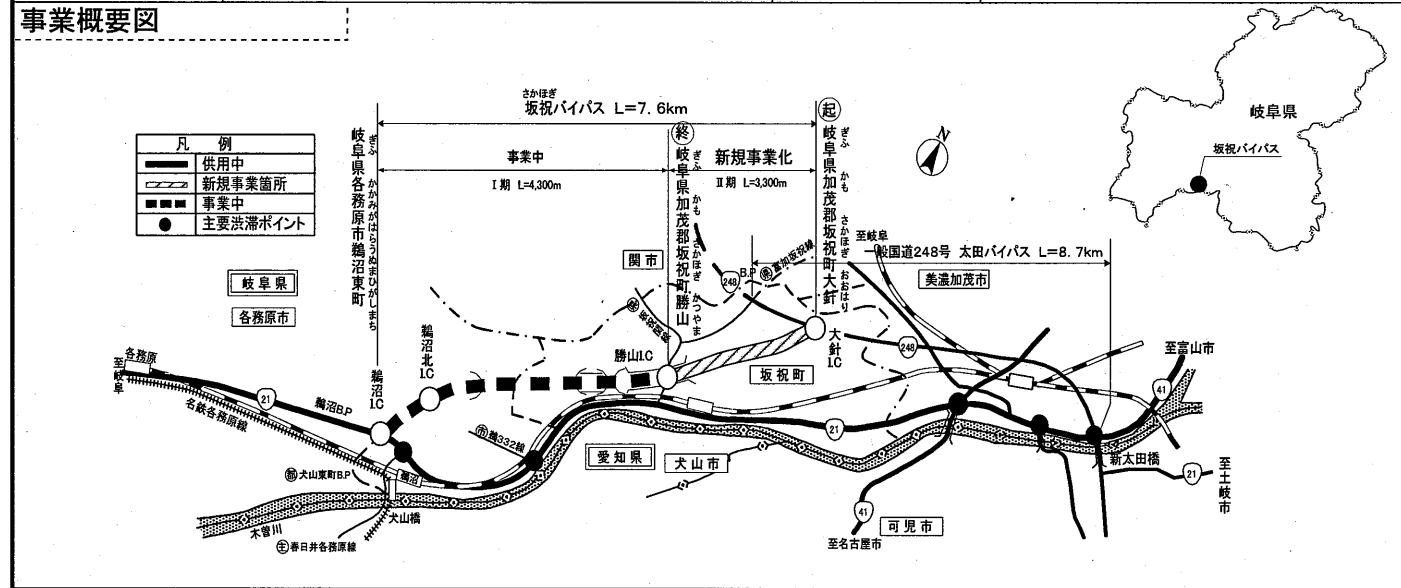
事業の概要

事業名	一般国道21号 坂祝バイパス（Ⅱ期）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：岐阜県加茂郡坂祝町大針 至：岐阜県加茂郡坂祝町勝山	延長	3.3 km		

事業概要
一般国道21号は、岐阜県瑞浪市から滋賀県米原市に至る約102kmの主要幹線道路である。このうち岐阜県美濃加茂市から大垣市に至る約40km区間は地域高規格道路・岐阜南部横断ハイウェイに位置づけられており、坂祝バイパスは岐阜南部横断ハイウェイの一部を構成する延長7.6kmのバイパスである。坂祝バイパス（Ⅱ期）は、平成19年度供用予定の8工区（延長4.3km）を延伸する延長3.3kmの区間である。

事業の目的、必要性
坂祝BP7工区は、①地域高規格道路「岐阜南部横断ハイウェイ」で唯一の未事業化区間であり、②ミッシングリンク区間を解消することで坂祝BP【H19完成予定】と太田BP（補助：部分供用済）と一体となったネットワークの構築を図ることが可能。さらに、③渋滞ポイントを5箇所削減する等現道21号の慢性的な交通渋滞を緩和するだけでなく、④夜間要請限度超過区間を解消することで沿道環境の改善を図り、さらに、⑤平成19年度供用時の脆弱な県道（富加坂祝線）を介したアクセス形態を解消する事ができる。

全体事業費	160億円	計画交通量	39,700台/日（H42）
-------	-------	-------	----------------



関係する地方公共団体等の意見
国道21・22号及び岐阜南部横断ハイウェイ整備促進期成同盟会（H16.9）、坂祝町長（H17.5）より早期整備の要望あり。

事業採択の前提条件
費用対便益：1.0を上回っている
手続きの完了：都市計画決定済

事業評価結果

費用対便益	B/C	6.3	総費用：137億円 （事業費：125億円 維持管理費：12億円）	総便益：860億円 （走行時間短縮便益：756億円 走行費用減少便益：94億円 交通事故減少便益：10億円）	基準年：平成17年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=5.6（交通量 -10%）	B/C=6.9（交通量 +10%）		
		事業費変動	B/C=6.9（事業費 -10%）	B/C=5.7（事業費 +10%）		
	事業期間変動	B/C=6.7（事業期間 -20%）	B/C=6.0（事業期間 +20%）			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	21号坂祝バイパス（Ⅰ期）、248号太田バイパスと一体となって地域の渋滞損失時間の低減を図る。 【渋滞損失時間の改善】約260万人時/年 → 約110万人時/年（約6割削減） 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】約130万人時/年km （岐阜県平均：約1.7万人時/年km（約7.5倍） 全国平均：約2.0万人時/年km（約6.5倍）（H14値）） 【渋滞度曲線】岐阜県内区間の上位2割に含まれる 【渋滞ポイント】5箇所→0箇所（5箇所削減）		
		事故対策	○	死傷事故率の高い区間の事故の減少が見込まれる 【死傷事故率】単路部約140件/億台キロ（現況） （死傷事故率比（県平均比）5.6（現況））岐阜県平均：約25件/億台キロ 交差点部約251件/億台キロ（現況） （死傷事故率比（県平均比）3.5（現況））岐阜県平均：約71件/億台キロ		
	社会全体への影響	歩行空間	-			
		住民生活	○	【生活快適性の向上】 県道（富加坂祝線）を介した端末アクセスが解消され、生活道路への通過交通を排除		
		地域経済	○	【観光地へのアクセス向上】 岐阜市～美濃加茂市（平成記念公園）間で旅行時間が6分短縮（49分→43分）		
災害		○	【緊急輸送道路としての機能向上】 第1次緊急輸送道路として位置づけられている国道21号の落石箇所を迂回（過去10年間に4回の落石発生）			
	環境	○	【沿道環境の改善】 夜間騒音測定値74dB→64dB（約1.4割削減） CO ₂ 排出量削減量：約5,200t/年（約0.1割削減）			
	地域社会	○	【地域連携の強化】 各務原市～美濃加茂市間で旅行時間が1/2に短縮（20分→12分）			
事業実施環境	-					

採択の理由

費用対便益比が6.3であり、都市計画手続きが完了していることから、事業採択の前提条件を確認。当該事業の実施により、現道21号の渋滞損失時間削減効果が大きく、騒音低減並びに地域連携が図れることから、事業効果が高いと判断できる。以上により、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。